



慶應義塾の看護教育100年の挑戦

今年でその歴史がちょうど100年となる慶應義塾の看護教育。1918年の「看護婦養成所」、戦後の焼け跡から再出発した「厚生女子学院」、そして「看護短期大学」から現在の「看護医療学部」へ。大正・昭和・平成という時代の中で挑戦し続けてきたその歩みをたどる。

「看護婦養成所」 大学病院を支えた

慶應義塾における看護教育の原点は1918（大正7）年に設立された「慶應義塾大学医学科（のち医学部）附属看護婦養成所」（以下、看護婦養成所）。翌年の大学病院設立に先立ち看護婦養成に着手したのだ。初代所長には後の医学部長である北島多一が就任し、日本赤十字社から

看護婦監督や教員を招いた。

約160名の志願者から選ばれた第1回入学者は54名。全員が寄宿舎で生活した。最初の1年間、学生は北里柴三郎博士が設立した芝養生園の仮養成所で学び、翌年には現在の信濃町キャンパス内に移転した。入学金・授業料は無料で、その代わり卒業後2年間は大学病院に勤務する義務年限があった。修業年限は当初2年間だったが、2年半、3年と延長され、逆に義務年限は1年半に短縮されたのち、廃止されている。1922（大正11）年には同じ医学部附属の「産婆養成所」が設立され、看護婦養成所の卒業生も入学した。この2つの養成所は、1944（昭和19）年に併合され、「看護婦産婆養成所」となった。

戦争の苦難を乗り越え 新しい時代に再生

第2次世界大戦末期、東京が米軍機による空襲を受けるようになると、看護婦産婆養成所の学生も爆撃や火災による負傷者の救護活動に従事。1945（昭和20）年5月24日未明の空襲によって看護婦寄宿舎を含む医学部・病院施設の約6割が焼失したものの、学生たちは看護婦、医師と協力して約200名の患者を一人の命



看護婦寄宿舎（1924年）



耳鼻科診療室実習（1927年）



終戦直後の信濃町キャンパスの惨状



3学部合同の海外研修プログラムである「ラオス・プライマリヘルスケア 保健医療チーム活動プロジェクト」にて行った小学校での手洗い教育（2016年）

「看護短期大学」を改組。湘南藤沢キャンパスに4年制、男女共学の「看護医療学部」が開設された（3年次は信濃町キャンパス）。卒業生は看護師に加え、選択により保健師・助産師の国家試験受験資格が得られる。

さらに少子高齢化や医療技術の高度化など保健・医療・福祉をめぐる社会環境の変化と

高度化する医療ニーズに積極的に対応していく

も失うことなく守り抜いた。戦後、大きなダメージから立ち上がった看護婦産婆養成所は、新しい時代の看護教育・資格制度に対応すべく、1950（昭和25）年に「厚生女子学院」として再出発。修業年限3年で卒業生は看護婦国家試験受験資格が取得できた。その後、1988（昭和63）年に3年制の「看護短期大学」に改組された。

ニーズに対応するため、2005（平成17）年に大学院「健康マネジメント研究科」を開設。看護医療学部卒業生だけでなく、幅広い学部出身者や社会人も多く学び、看護、健康、スポーツなど各分野の実務家と研究者を養成している。

2011（平成23）年からは看護医療学部と医学部、薬学部の3学部合同教育「グループアプローチによる患者中心の医療実践教育プログラム」がスタートした。近年、その重要性がますます増しているチーム医療だが、医療系3学部の学生が交流を深めつつ、医療チームの一員とし

ての実践を学べるかけがえのない教育の場となっている。人々のいのちと健康を守るために、1世紀にわたって日本の看護教育における先導的な役割を果たしてきた慶應義塾。次の100年に向けた挑戦はすでに始まっている。



看護医療学部校舎（湘南藤沢キャンパス）

慶應義塾 看護教育の歴史

- 1917(大正6年) 医学科を創設し、慶應義塾大学医学科附属看護婦養成所の認可を得る
- 1918(大正7年) 芝白金三光町養生園に仮養成所を設置、第1回生の養成を開始
- 1944(昭和19年) 医学科附属看護婦養成所を医学部附属看護婦産婆養成所と改称
- 1950(昭和25年) 保健婦助産婦看護婦法により看護婦産婆養成所を慶應義塾大学医学部附属厚生女子学院と改称
- 1954(昭和29年) 医学部附属看護婦学院設置
- 1960(昭和35年) 医学部附属看護婦学院廃止。准看護婦の進学コースとして別科課程設置
- 1971(昭和46年) 大学病院附属高等看護学院(准看護婦の夜間進学コース)設置
- 1976(昭和51年) 大学病院附属高等看護学院廃止、厚生女子学院に合併し厚生女子学院に二部課程(定時制)設置
- 1977(昭和52年) 学校教育法、施行規則等の一部改正により厚生女子学院は専修学校となる
- 1978(昭和53年) 厚生女子学院創立60周年記念式典挙行。厚生女子学院進学科一部廃止
- 1983(昭和58年) 厚生女子学院進学科二部廃止
- 1988(昭和63年) 慶應義塾看護短期大学開校
- 1990(平成2年) 厚生女子学院廃止
- 2001(平成13年) 看護医療学部を開設
- 2003(平成15年) 看護短期大学廃止。信濃町の校舎は「孝養舎」と改名
- 2005(平成17年) 大学院健康マネジメント研究科開設